初任者だった方

４－２	とくになし。日々の活動の中で。
４－４ 研究授業の教科	１、朝の会　２、校外学習事前　３、課題別（例年にのっとって、話し合いつつ） １、朝の会　２、課題別　３、音楽（１は決まっていた。２，３は自分で決めた） （拠点校指導員との相談） １、朝の会　２、課題別　３、体育（指導教官と話し合いで決めた） １、朝の会　２、G 学習　３、職家 １、朝の会　２、生単　３、音楽（指導員と相談し、段階を踏んで・・・ということで） １、朝の会　２、生単　３、グループ学習（1 は指定、２，３の順は自分で。教科は指定） １、朝の会　３、体育（３は自分の意向で）
５－１	音楽の実技が良かった。 講義の中でも実践報告がよかった 教科指導数学、他校研修
５－２①	（改善すべき）その曜日の授業に参加できない。続けてあると、一単元丸々見られない。 （とくに問題なし）行事などと重なったら、変更できるなど、できると良い。
③	（改善すべき）3 学期、とくに短い学期なのに、１，２月に集中して校外があり、せわしない。
④	06 年 3 月の希望者研修に出たが、4 月の研修と内容がかぶった。わざわざ 3 月に出たのだから、違うことを学びたかった。

同じクラス・学年・教科

4	記録が多くて、記録に追われている印象を受けました。それよりも、教材研究の時間を多くとってあげて、その教材を持ち寄るような方が、本当に意味のあるものになるのでは、と思いました。 拠点校指導員の方は、たまに入っていますが、子どもたちの指導についてクラスの教員と話し合いはありませんでした（時間もない）指導のズレを感じることもありました。子どもの指導について伝えたくても、自分も子どもたちを担当していたこともあり、研修研修で時間もなく、指導を見せることもあまりできない。 初任者に余裕がない･･･等々、旧方式の方がずっと効果的だと思います。お金の問

	題が大きいようですが。 とくに大変だったことはありません。
5 － 3	①特に問題なし 初任の方は毎回同じ教科にいないということになりますが、代替の人や行事の計画を思うと、曜日が同じほうが良いと思います。 ②改善すべき 多すぎる。1 年目はゆっくりじっくりクラス、クラスの児童と関わり、まだまだ目の前のことを理解したり真似したり、2 年目以降に知識を加えていった方が効果的ではないかと思いました。

拠点校指導員・旧方式の指導員だった方

４－１	学校によって違う。ある学校は各学期に 1 回で計 3 回。ある学校は２，3 学期に１回ずつ
４－２	（担当教科） 学年やクラスで話し合い、年度始めに決まっていた。×２ 学校から公開授業として指示がありました。 クラス単位で相談して決めた（本人のやりたいものにした） 養護学校で全科のため、他の教員との関係を絡めて担当する授業が決まった。 １，２学期については、個別対応が中心となる個別課題（国、算、自立活動）を主に研修の中心にし、３学期は集団での授業の中で、リーダーとして授業を行うことをメインに研修を組んだ。初任者が担当する教科については、基本的に週時程の研修の日と合致するように考えた。 初任者の希望と学年の実情から決めた。
	校内指導教員と相談して決めた。 一番無理なく１年目でできる教科（一人でやらずに集団の教科／小低体育） （研究授業回数） 学年やクラスで話し合い、年度始めに決まっていた。

	６回目とも同じものを使用（少し手直し）して、負担はあまりないように考えました。ただし、拠点校方式というものがよくわからずに研修がスタートしてしまったため、研究授業で扱う教科にかたよりがでてしまったため、次年度は計画的に行えるように配慮しました。研修内容については、初任者と校長とに意見をいただき、研修授業回数も適ということでしたので、次年度も５回設定しました。（２，３学期の２回は同一題材の初めと終わり頃に設定し、展開の部分を書けばいいようにしました） 本校では研究授業の重視もあり、授業研究をしっかりするということもあって、３学期が本番、１学期は授業案の書き方、２学期はプレということで行った。 ２学期が一番日を取りやすいということで、２学期、１ヶ月くらいかけ、指導案、授業の進め方、児童の見方など、クラスで協議。ビデオ撮りなどもした。 ２学期に練習としてクラス内で行い（実際見れてなかったので一自分も子どもを担当してみているので）ビデオをとった。本番を３学期に行った。
５①	（改善すべき） 同じ教科のときに出張になってしまう。 学校、学部行事等の運営が難しくなる。 週に１コマしかない教科がその曜日であったりすると、指導に支障が出る。
５②	問題がないとはいわないが、それが初任者にとって本当に必要な研修なのであれば協力するしかないのではと思います。 （改善すべき） 多すぎる×３ 内容の精選をし、回数を減らす方向で考えて欲しい
５③	（改善すべき）１学期の大事な時期にも授業に出られず、子どもとの関係を作るのに支障が出やすい気がします。
５④	こちらも週一なので、学年やクラスが大変だと思う 指導教員は校外研修は少なく、自分の中で考えるしかなかった。 同じ曜日であることはよいが、曜日設定は改善してもよいと思った。昨年度は火曜日であって、行事などが入りづらかった、などと、拠点校の教員でも意見があり、申し出たら今年度は木曜日に変更になって、より、指導日・行事など設定しづらくなったのでは？ 基礎知識として必要なものもあるし、客観的にみつめる時間も必要だ。
６	教員は「見て、気づいて、自分でイメージして、考えて、まねて、実行して…等々」で、多くのことを学んでいくので、児童の変化が見られない（見せることのできない）拠点校指導員は全く無駄だと思います。知識や注意で育

つものではないと思うので。
校内研修（教科、一般）、校外研修共、すべての研修ごとにレポート作成、提出が義務付けられていたので、事務量が多く忙しかったと思います。もっと通常の仕事（児童・生徒についての情報交換、ケース会議、教材研究、授業の準備、教育計画や評価の仕方など）を初任研に当てられるようにすると、実務と直結して実践力につながると思います。
出張が多い！！
大変だけど意義のある研修ではあったが、補填で入る非常勤が大学を出たばかりだったので、補填教員を指導する必要も出てきて、クラスは混乱気味だったように思う。次年度の臨任を育てている感じだった。
初任者と一口にいっても、経験が全く異なるので、とくに新卒新任の者にとっては研修の内容が多岐にわたりすぎ、１年間ですべてを理解することは難しいのではないか。また、校外研修で学校から離れることが多いため、指導実践の中で吸収していく機会が減ってしまうことは問題なのではないか。（他の教員の実践を見て学ぶことも多いと思うが…）また、チームでの学校運営が中心の養護学校では、研修でたびたび抜けざるをえない状況は支障が大きい。
実施形態が各校で違っているということは指導教員の研修会でも感じました。しかし指導教員の資質は均一ではありません。これまでの経験からそれぞれの得意分野、不得意分野があること、また学校の実態の違いから研修に求められるものも異なることを考えると、研修の内容が異なってくることも致し方ないかと感じます。とくに私が担当した２年間は、学部主任や進路主任等をやっておられた方が指導教員だったところが多く、研修内容が理論的な内容になっているなと感じることがありました。「私は授業のことしか分りません」といって指導教員を引き受けたので、授業研究が多く、授業案も毎時間提出としていたので、初任者にはとても負担だったのではと思っています。
同一曜日で授業内容の変化も少なく、全教科にわたって初任者に研修して欲しかったとは思った。
初任者の指導は、主として校内指導教員になってしまう。拠点校指導員は週一日その初任についてもその児童・生徒・クラスの実態なども分りづらい。日々の指導の中、かかわりの中で指導していった方が、初任者も分りやすいと思える。校内指導教員になった先生のほかの仕事量をへらすなど考えていった方がよいと思えた。
合計３００時間はなかなか取りづらく（出張、会議）、２，３月はバタバタたくさん詰めてとる状態だった。しかし、クラス内での担当〇なので「指導日」

	という枠にとらわれることなく。毎日が（研修という形ではないが）実践、研修ということで、すぐにいかせ、すぐに確認でき、すぐに改善できてよかったと思う。一人指導担当ということもなく、クラスの他の教員も当然のように指導教官のような形でかかわってくれ、とてもやりやすかった。ただ、書類はとてもめんどうであまり意味を感じなかった。新採の人の計画、報告だけで十分だと思った。指導教官の方はいらないのでは。